

死刑について考える ～小説家と学者の対話～

当連合会は、2016年の人権擁護大会にて、死刑制度は廃止すべきとの決議をし、国民的な議論を経ることを求めました。政治のレベルではなかなか議論が進みませんが、近年、徐々に死刑制度を廃止すべきという意見を公表する著名人も出てきました。そして、今年2月に「日本の死刑制度について考える懇話会」が発足し、さまざまな角度からの議論が行われています。

本シンポジウムでは、芥川賞作家であり2022年に「死刑について」（岩波書店）を上梓した小説家の平野啓一郎氏と、法制審議会前会長で中央大学大学院教授の井田良氏の対談を通じて、死刑制度について考えてみたいと思います。

2024年6月11日（火）午後6時～午後8時

場所 弁護士会館1701会議室・Zoomウェビナー併用

（東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館17階・要申込み）

プログラム

※下記は予定であり、変更となる可能性があります。

(1) 当連合会におけるこれまでの検討

小川原 優之 弁護士（日弁連死刑廃止及び関連する刑罰制度改革
実現本部事務局長）

(2) 対談「死刑について考える～小説家と学者の対話～」

平野 啓一郎 氏（小説家）
井田 良 氏（中央大学大学院教授）



©ogata_photo

(3) 「日本の死刑制度について考える懇話会」の報告

中本 和洋 弁護士（日本の死刑制度について考える懇話会委員）

申込方法

- ①会場参加（定員：先着70名）、及び、②Zoomウェビナーでの参加が可能です。
いずれの場合も以下URL又は右の二次元コードからお申込ください。
参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。
※会場参加が定員に達した場合はZoomウェビナーの受付のみとなります。



【お申込先】 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/611taidanm/taidankai/>
※Zoomウェビナーの参加用URLは、当日までにメールでお送りします。

お問い合わせ先

法制部法制第二課 TEL：03-3580-9875/FAX：03-3580-9920

主催 日本弁護士連合会